RayAegis® Japan

Keep the Lights, Keep the Fights, for Security Future

独自開発のAIエンジンを搭載したクラウド型WAF

Ray-SOC WAF

無償トライアル 最大2ヶ月

共有型プラン月額2.8万円（税別）

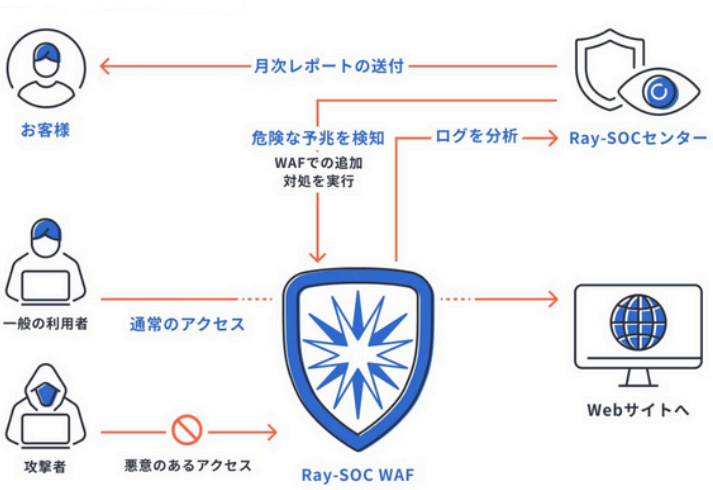
初期費用5.8万円（1FQDNあたり）

Ray-SOC WAFは、CloudCoffer社の技術提携により開発されたクラウド型WAFサービスで、独自のAIエンジンを搭載しています。このAIは、ゼロデイ攻撃や難読化攻撃を検知し、複数の攻撃パターンの組み合わせを検出できます。また、レイ・イージス・ジャパンのSOCチームが常に監視しているため、管理がほとんど不要です。

株式会社レイ・イージス・ジャパン

独自開発のAIエンジンを搭載した共有型サービス

Ray-SOC WAFは、世界中に配置されたハニーポットとユーザサイトから収集された攻撃データを基に学習した独自のAIエンジンを搭載した革新的なクラウド型WAFサービスです。このサービスは、従来の防御システムでは検知が困難なゼロデイ攻撃や難読化された攻撃、複数の攻撃パターンを組み合わせた高度な脅威、さらにはボディ部分に潜む攻撃コードまでを的確に検知します。マルチテナント型の設計により、複数のユーザー間でサービスを安全に共有しながら、コスト効率の高いセキュリティ対策をご提供します。



高度な防御機能で「ボディ部分」の攻撃を検知

従来型のWAFシステムでは検知が困難とされてきたHTTPリクエストのボディ部分に巧妙に仕掛けられた高度な攻撃パターンを、CloudCoffer社との技術提携により開発された最新のAIエンジンで確実に検知します。グローバルに配置された数多くのハニーポットとユーザーサイトから日々収集される最新の攻撃データをAIが継続的に学習・解析することで、従来の静的なルールベースでは対応できないゼロデイ攻撃や巧妙に難読化された不正アクセス、さらには複数の攻撃手法を組み合わせた高度な攻撃パターンまでを的確に識別し、ブロックすることが可能です。

Ray-SOC センターでの監視付きで安心

Ray-SOC WAFの大きな特徴は、レイ・イージス・ジャパンが運営するRay-SOCセンターによる24時間365日の専門的な監視体制にあります。WAFで検知されたすべてのセキュリティログは、経験豊富なSOCアナリストチームによってリアルタイムで分析・評価されます。不審な通信パターンや危険な兆候を検出した場合、即座にお客様へ通知するとともに、WAFの防御ルールの最適化や追加対策の提案を行います。お客様自身での日々のログ確認や複雑な運用管理は不要で、セキュリティの専門家による継続的な監視・運用支援により、安全なWebサイト運営を実現します。さらに、日本の法人顧客特有のニーズを熟知したSOCチームによる、きめ細やかなサポートをご提供します。

Ray-SOC サービスセンター

お問い合わせQRコード
（外部ドメインに移動します）

株式会社レイ・イージス・ジャパン